



念頭のごあいさつ

理事長 木村修一



明けましておめでとうございます。















昨年は地球環境の面でも国際情勢、さらには私たちの生活に直結する政治・経済においても、重苦しさを感ずることが多い年でした。京都議定書の批准を拒んだアメリカの独りよがりな態度に世界の目が厳しくなっているなかで、これに追随するかのよう温暖化防止会議では、相変わらず後ろ向きで「化石賞」を何度かもらうという情けない日本の態度をみると、やりきれない思いです。しかし私たちの活動に賛意を示して一緒にやってくれる仲間がたくさんいることを考えると、「よーし今年も頑張るぞ！」という気持ちになるから不思議です。

昨年の夏フィンランド、ロシア、バルト三国を訪ねる機会があり、ラトビアからエストニアに向かう

途中、バスの中から白い風力発電機が動いている光景に接して MELON を思い出したことを覚えています。MELON では国のかけ声で炭酸ガス削減のために設置されたはずの「ストップ温暖化センターみやぎ」には全く予算がつかずに困っているのに、最近つくば市で十分な風況調査も行わず、国の補助金を使って小型風力発電機23基を設置し発電量が低くて問題になっているという話を聞きました。これに限らず、自然エネルギーやその他の環境政策に関しては MELON を始めさまざまなノウハウを持つ団体と行政が連携して取り組むべきだと感じています。今年もやらなければならないことが多そうですが、MELON の皆さん！共に頑張ろうではありませんか。



<Index>

- P2.  報告 第10回 MELON みんなでおさがり市
- P3.  報告 100万人のキャンドルナイト 星降る音楽会
- P4.  ご案内 みやぎ環境学習パートナーシップ推進事業
交流会のお知らせ
-   かんきょう読み聞かせ
- P5.  報告 エコシティ仙台プロデュース
プロジェクトの取り組み
-  コーナー MELON20周年を目指せ！50人リレートーク
- P6.  報告 宮城食料サミット「BSE」を考える
-  報告 市民講座「海拔1mの島国 ツバル」
- P7.   ストップ温暖化センターみやぎ「通信」
- P8.  報告 会員状況
-  ご案内 発送ボランティア募集
-  ご案内 ボランティアポイント制度
- 編集後記

